

「島間小学校における伝統芸能の伝承活動」

1 学校名

南種子町立島間小学校

2 学年・人数

「ヤートセイ」全校児童 27 人 「棒踊り」3・4年生 10 人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

ヤートセイ・・・平成 30 年 7 月～9 月 体育の時間 本校体育館

棒 踊 り・・・平成 30 年 11 月～12 月 総合的な学習の時間他 本校体育館

(2) 発表の日時・場所

ヤートセイ・・・平成 30 年 9 月 16 日（日）校区合同運動会（全校児童：校庭）

棒 踊 り・・・平成 30 年 12 月 8 日（土）学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活動に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

「ヤートセイ」 「棒踊り」（ぼうおどり）

(2) 由来

ヤートセイに関する詳しい由来は分からないが、島間校区には「おくめくどき」「伝七くどき」「お千代くどき」「八兵衛くどき」「与市くどき」「小松くどき」など集落毎に踊りが伝承されている。いずれも、身分違いの恋物語を歌ったものである。

(3) 構成等

ヤートセイの踊りは、出端、本踊り、崩し、引端から構成されている。出端は太鼓や鉦を鳴らしながら、二列縦隊で入場し次第に円形の隊列になる。太鼓三人、鉦三人、小太鼓三人は内側の円で、踊り子は外周を時計方向に前進しながら本踊りを踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

運動会で披露する伝統芸能は、集落在住の保護者から踊り保存会の方々へ連絡をしてもらい、夏休みに入る前に 1～2 時間程度、2 学期に入って 3～4 時間くらい練習を行い、その時数については、教育課程の年間計画にも入れてある。

踊りは主に女性の指導者が、太鼓や鉦は男性の方が熱心に指導してくださった。今年は「ヤートセイ」以外にも 3・4 年生の総合的な学習の時間の一環として「棒踊り」も学び、12 月の学習発表会で保護者や校区民にも披露した。

6 文化財伝承・活動の取組の工夫した点

運動会で披露する伝統芸能の一年目は、保存会の方々による指導・練習会を多くもつようになっている。今回の「ヤートセー」では、子供の腕力では太鼓を振り回すのに力が足りず、保存会の方が、軽い材質で作った太鼓を用意してくださり、なんとか太鼓の舞を披露することができた。「棒踊り」も四人一組で踊る踊りなので、保存会の方の都合がつく夕方の時間帯にも来校して指導をしていただいた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場など）

「ヤートセー」



「棒踊り」



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- ◎ 初めは、足の運びと太鼓を回すタイミングが分からず、しかも太鼓を回す腕が痛かったけど、頑張って踊り切ったあとは、とても気持ちよかった。お仕事の後、熱心に教えてくれた人たちにありがとうございます。（児童）
- ◎ 練習の時は、「大丈夫かな…」と心配ばかりしていましたが、本番の子供たちの頑張りと目の輝きにこれまでの苦労が一気に飛んでいき、指導に来てよかったと思いました。地域の方々も運動会での踊りを毎年楽しみにしているようです。（伝承者）
- ◎ 残暑厳しい中、仕事の合間を縫って熱心に指導に来ていただいた保存会の方々には頭が下がる思いです。子ども達も地域の伝統芸能に触れ名実ともに「島間っ子」になった感じがしました。（教員）